

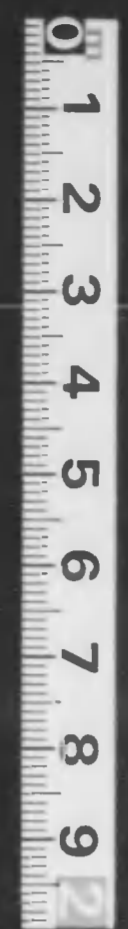
週寫眞報

編輯部報情閣内
ンセ十・號四卅第・日五月十

昭和十三年二月十二日 第三號郵便部認可 昭和十三年十月五日發行 (毎週一日本報日發行) 第廿四號



若きドイツ





大日本聯合青年團第十四回大會は、畏くも 秋父宮殿下の台端を仰いで、九月二十六日明治神宮外苑の日本青年館で舉行され、鉄後の第一輯を譲るべき新綱領が宣言された。

この日殿下には事變下に於けるわが青年の重大使命を思召され、全國三百萬青年から選ばれた代表一千名、及び幹部、役員に對し有難き御言葉を賜り、一同はいよ／＼感激、鉄後青年として誠私奉公を誓つた。



踏む大地
漲る力

青年徒歩旅行

省道鐵



女子青年
指導者訓練

一九三三年、ヒットラー政権の下にドイツは第三帝國となるや、ヒットラーはその理想とする國家を創造するためには、十年二十年を必要とする、そのためには幼少時代から國家觀念を注ぎ込まねばと、若き苗木や若木の育成を始めた。

それまで各地に「渡り鳥」と呼ばれて雑然と散在してゐた青少年團は、こゝにヒットラー・ユングととして統合統一され、眞のドイツ建設の重大任務を負ふことになつた。

次で一九三六年末にはヒットラー・ユング法が公布され、ドイツ男女青少年はすべてヒットラー・ユングに参加すべく規定された。来るべき時代のドイツの姿を暗示するこのヒットラー・ユングは今日すでに團員七百五十萬人に達し、ドイツ少年團(十歳—十四歳)ドイツ少女團(十歳—十四歳)ヒットラー青年團(十五歳—十八歳)ドイツ女子青年團(十五歳—二十一歳)の四つの組織から構成されてゐる。そしてヒットラー・ユングは學校とは全然別の組織で、別箇の機關であるから、その指導者も別になつてゐる。しかも「青年は青年によつてのみ指導されねばならぬ」とのヒットラーの原則は、年々づか三十歳のベルドルフ・フォン・シーラハ團長によつて見ごと實現されてゐる。

學校の授業がおつた毎週の土曜日は、國定青年團日とされ、旅行、グライダーやオートバイ等のスポーツ、自動車操縦、射撃、天幕生活、團體遠足、教練等、體位向上をめざす團體生活にあてられ、この生活によつて訓練、服従、義務、犠牲心が自然に獲得されるやうに仕向けられてゐる。

また彼らのためには全國到るところに多數の宿所が用意され、暑中休暇の三、四ヶ月も森と湖沼の大自然の中に戶外生活を樂するやうになつてゐる。褐色の制服に身をかためた少年たちはハーケン・クロイツの腕章を左腕に、團旗をかざし、太鼓の音とともに勇壯な歌を合唱しながら、町から町へ、森から森へと行進をつづける彼等の顔には熱烈な愛國心が躍動してゐる。なほ、これ等ヒットラー青年團員の八割が職業に従事してゐることも注目される。

今、訪日ヒットラー・ユングの來朝に際し、モーター・ユング、海洋ユング、女子青年團等の近所の寫眞の中からその最精たる活動ぶりをこゝに紹介しよう。

若きドイツ

▶ 朝、ボツツダムの森に、新興ドイツの太陽は上る。百萬のドイツ女子青年團員の中から選ばれた未來の指導者達は、三月の訓練の一日を、國旗掲揚式に始める。厳かにさし出した右手の指先に、輝くは不屈のナチス魂。

富真館

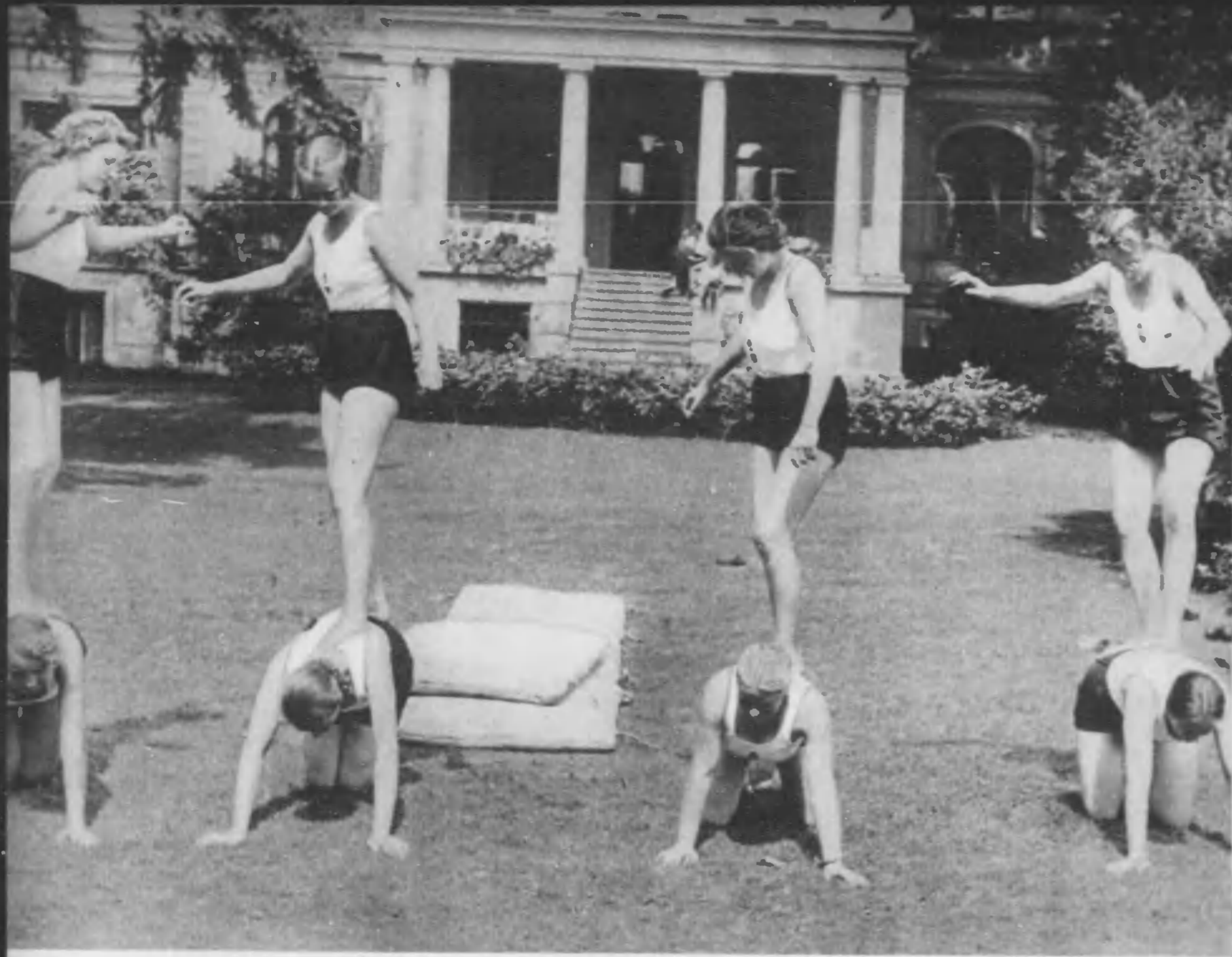
百萬の團員を有するドイツ女子青年團の女子指導者をボツツダムで養成してゐるが、ナチスの女子教育の特徴は、その生活が社會的であると共に、家庭のよき主婦であり強き第二のドイツ民族を育てるよき母であることを強調してゐる點にある。ドイツ女子青年團員の年齢がヒットラー・ユングの十八歳に比較して三年多

い二十一歳までとなつてゐるのは、そのやうな目的からである。此處で三月の訓練を受けたドイツ女子青年團員は各地方の指導者となつて新興ドイツ建設に、その若々しい力を揮つてゐるのだ。強く、やさしく、美しく、革新心にある大和撫子も彼女達に學ぶところが多い。

組織的訓練は、三月の生活の隅々までゆきわたつてゐる。皆の手でお互ひの生活を知る名簿は編まれてゆき、政治、經濟、文化あらゆる話題が、ドイツ國家社會主義の指導原理に依つて批判されその方向に導かれてゆく。(上)

すなりと進んだ、ドイツの近代女性。その肉體ははちきれぬやうな青春の輝きをたへてゐる。強き民族を生む強き肉體はあらゆるスポーツに依つて鍛へられるのだ。ドイツのスポーツ政策は、次代のドイツを生む女性の健康に、十二分の考慮をはかつてゐる。





↑
 織の女生で朝の體操。その
 骨格を鍛へ、筋肉をきたへる
 力と美の高等體操だ。ドイツ
 に新しき世紀の女性はいかに
 育つ。

⇐
 多の夜長も退屈しないやうに、皆手仕事
 を勉強する。婦人は家庭に基礎を置け、
 といふナチ教育の一面だ。今習ひ覚えた皮
 細工は、故郷へのよき土産として持ち歸ら
 れ、各地方のドイツ少女團員達に教へられ
 る。



富貴協會

↓
 午前中の日課が終つた
 ひととき。歌を豊かに持
 つた團員達は、わが故郷
 の歌謡をうたひ合ふ。清
 らかな合唱につれて美し
 い友情が皆の心に融けこ
 んでゆくのだ。

↑
 若アールの水を蹴つて、
 口操のごとく泳ぐ水泳も
 口操の一つだ。彼女達は
 陸に鍛へ、尚水に鍛へ
 る。逞しく成長するこの
 肉體には、ドイツ女性の
 憧れ、ヒットラー突撃隊
 の青年隊員に倣ふ名譽が
 約束されてゆく。





モーター訓練



⇒ 傳令訓練 指導者を先頭に、エンジンの爆音も快くボツダム廣場の野營地からノルデールの野に向ふ青少年。

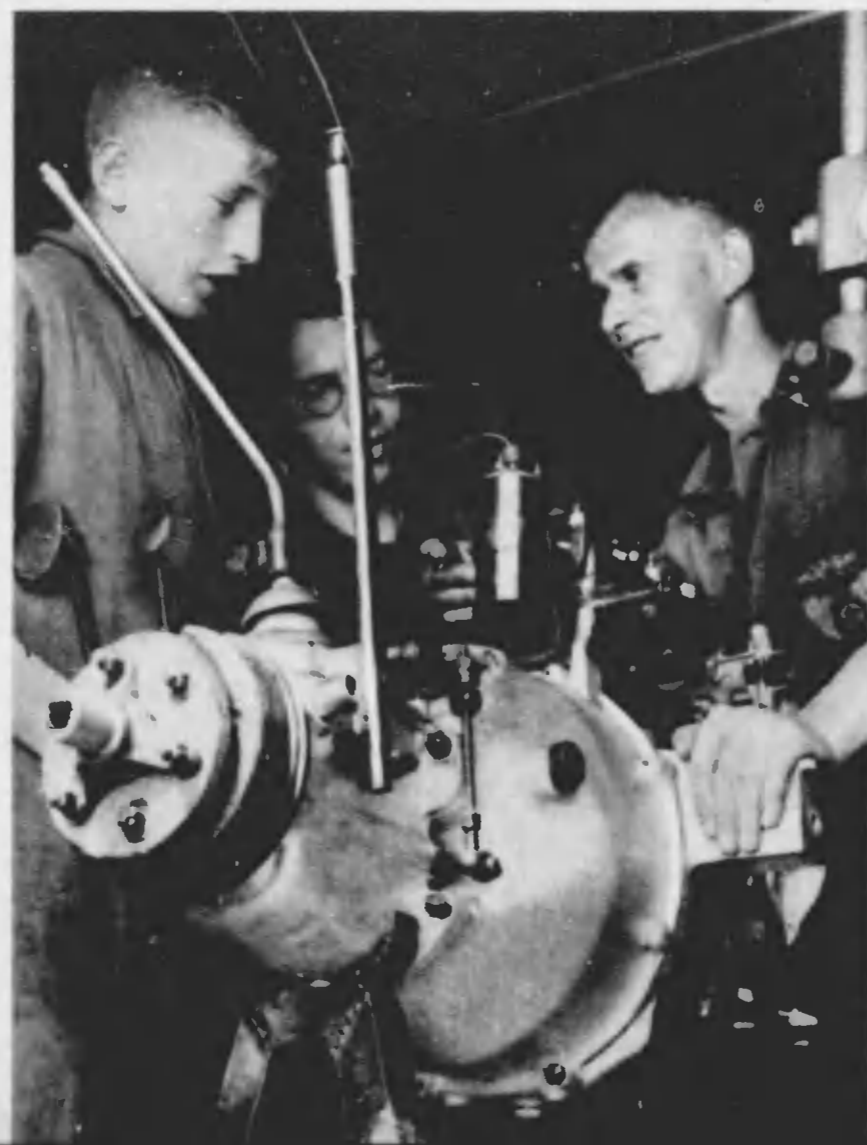
モーター訓練所。これらも健康な肉體、科學的な頭腦の訓練、及び國防第二陣營養成のためにドイツが誇る設備の一つである。
場所にはボツダムの廣域、先鋒の指導の下に數週間にわたる合宿訓練で、エンジンの基礎知識から操縦法、交通規則に至るまで規律正しい生活のうちに習得する。合宿は野外の天幕生活、健康と規律が第一のモーター。はちきれぬ若さが、エンジンの爆音とともにボツダムの野を覆ふ。

會協員宴



⇧ 運糧實習 左大廻り、右小廻り（日本ではこの反対だが）の規則に従つて、操縦の練習コースをユーゲントの車はぐる／＼とまわる。

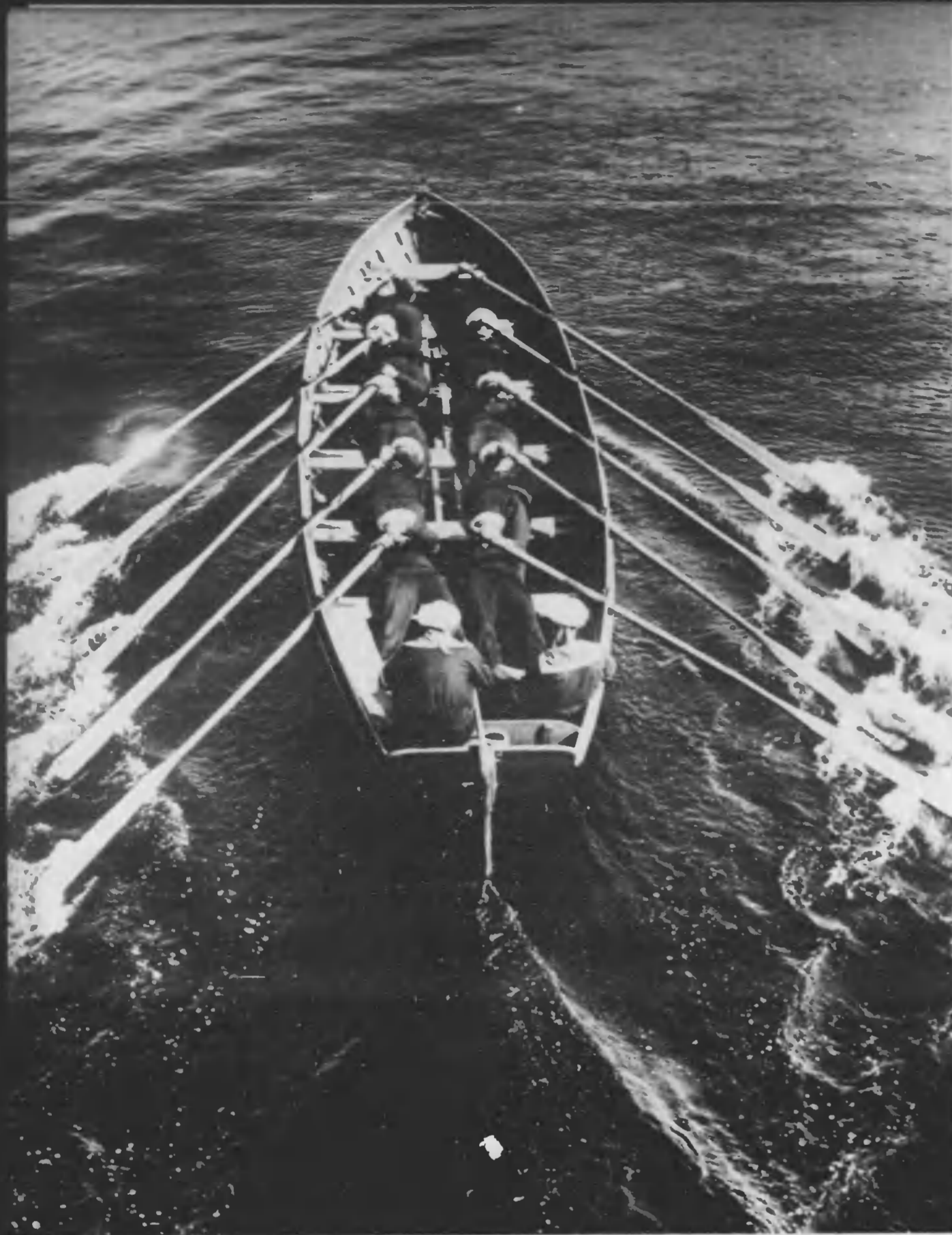
⇨ 炊事も當番をきめて代るがける。猛烈な同僚の食慾にこたへて炊事當番は山の様なパンをきり、ジャムをつける。朝食用意終り、さあ食つてよろしい。



⇨ 交通規則に對する明瞭な知識を持つことは文明人の誇りであり、殊に、自動車自動自転車の操縦者に取つては義務でなければならぬ。

⇨ 一インダクションコイルはシリンドリを爆發させて、動力をうるための高壓電流を作るコイルだ。解つたか！——模範を圍んで指導者の説明に懸命の耳をかたむける。





練訓洋海

ドイツの海、北海の朝風に赤銅色に染まった頬を輝かし、海の第二陣を承つて激刺と訓練をつとめる海軍青年隊、これは海のヒョトラー・ユージェントである。起床から就寝まで、すべてドイツ精神が作つた正しい規律に従つて、運動をやり、學業をうけ、カッターを漕ぐ。都會にあつて新鮮な外氣に不足し勝ちだつた青年の肉體も、碎ける念慮に力強く躍動し、明けの海の生命線を守るべき若い魂は躍る朝日に輝きわたる。

暑中休暇もはりに近い、オートルもつても豆に豆と、もうすつかり固くなつて、今日もカッターの練習だ。

カッター出港。腕に渾身の力をこめてカッターは北海の衝面を矢のやうに走る。若さをオートルにうち込んで。

全乗組員をあづかる舵手の知識を航海圖の上にコンパスと三角定規で精密に検討する海軍のH・J。船約けた間、果敢な眼が、すべて航海圖の一點に集まる。

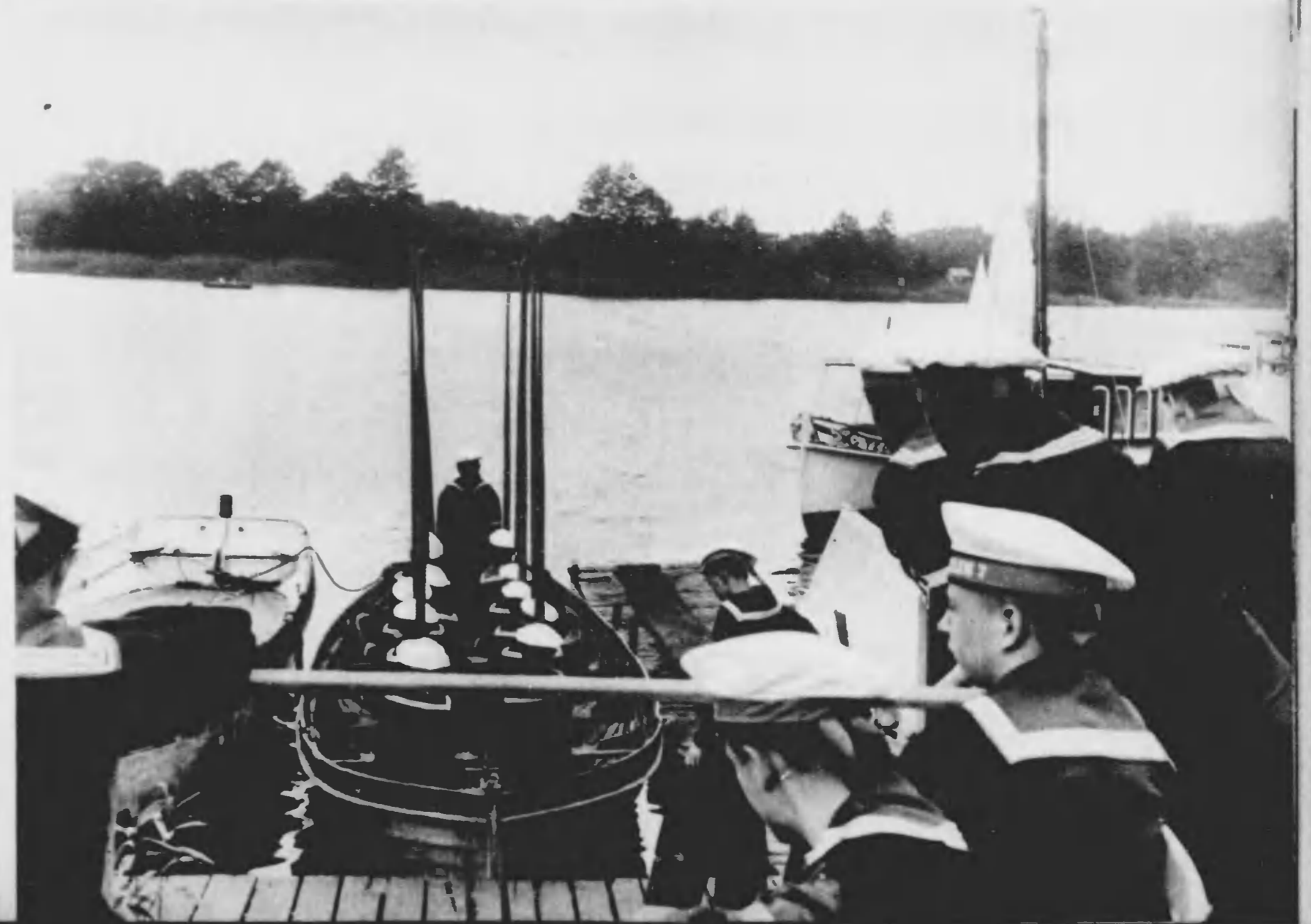
「カッター手入方始め！」ボートハウスの傍に引上げられたカッターは若人の手で響かれ、除り上げられる。薄きたない船は船乗りの恥た。

軍費協會



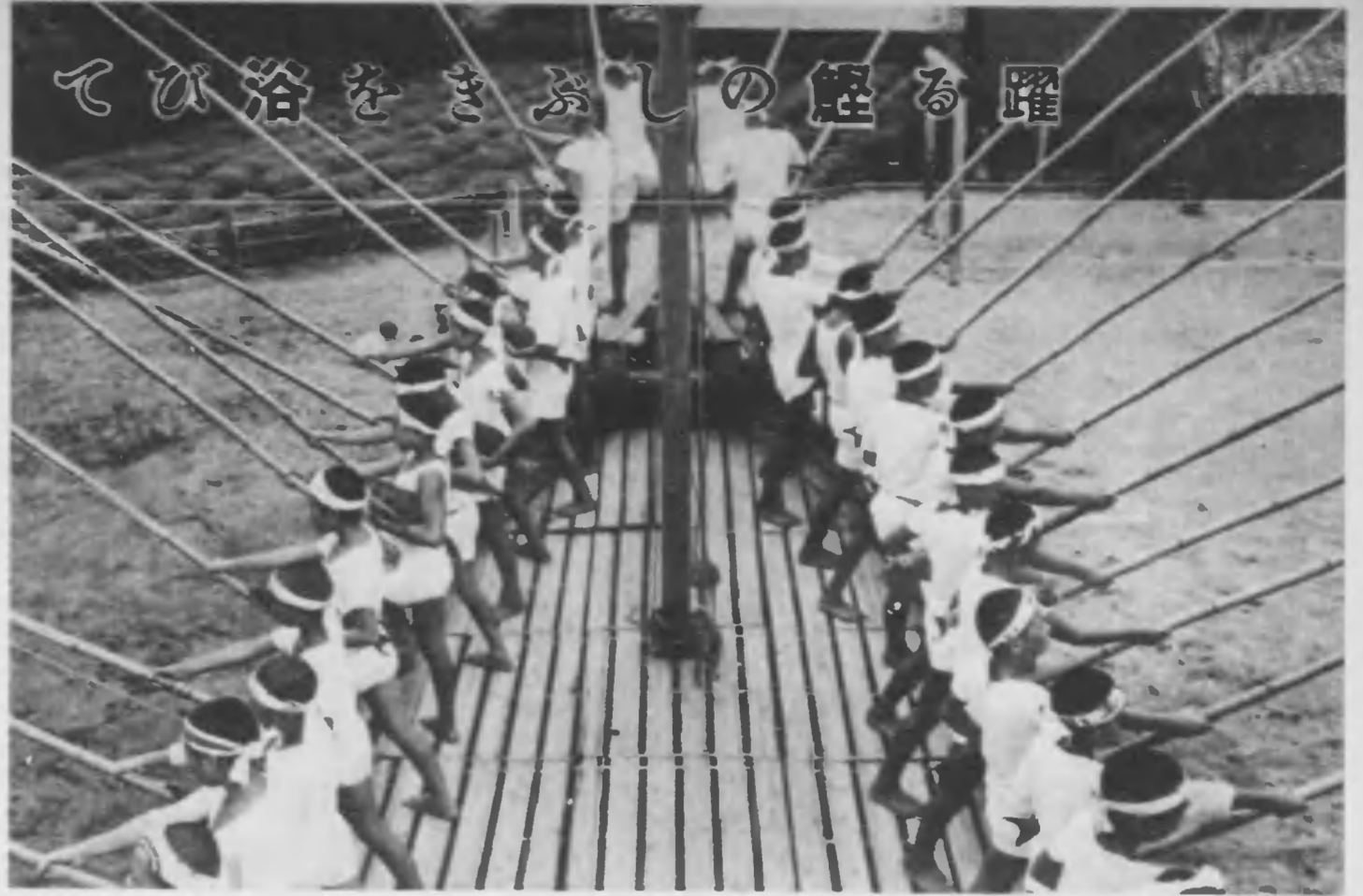
團旗掲揚式。午前八時、ハーケンクロイツの染め抜かれた團旗は若人の心を奪つて朝風に翻るとひるがへる。

船乗りは繩の取扱ひが大切だ。マスト登りにも、カッターの引上げにも、繩は大事な商賣道具。結んだりほどいたり、切つたりつないだり、繩の操縦第一課。



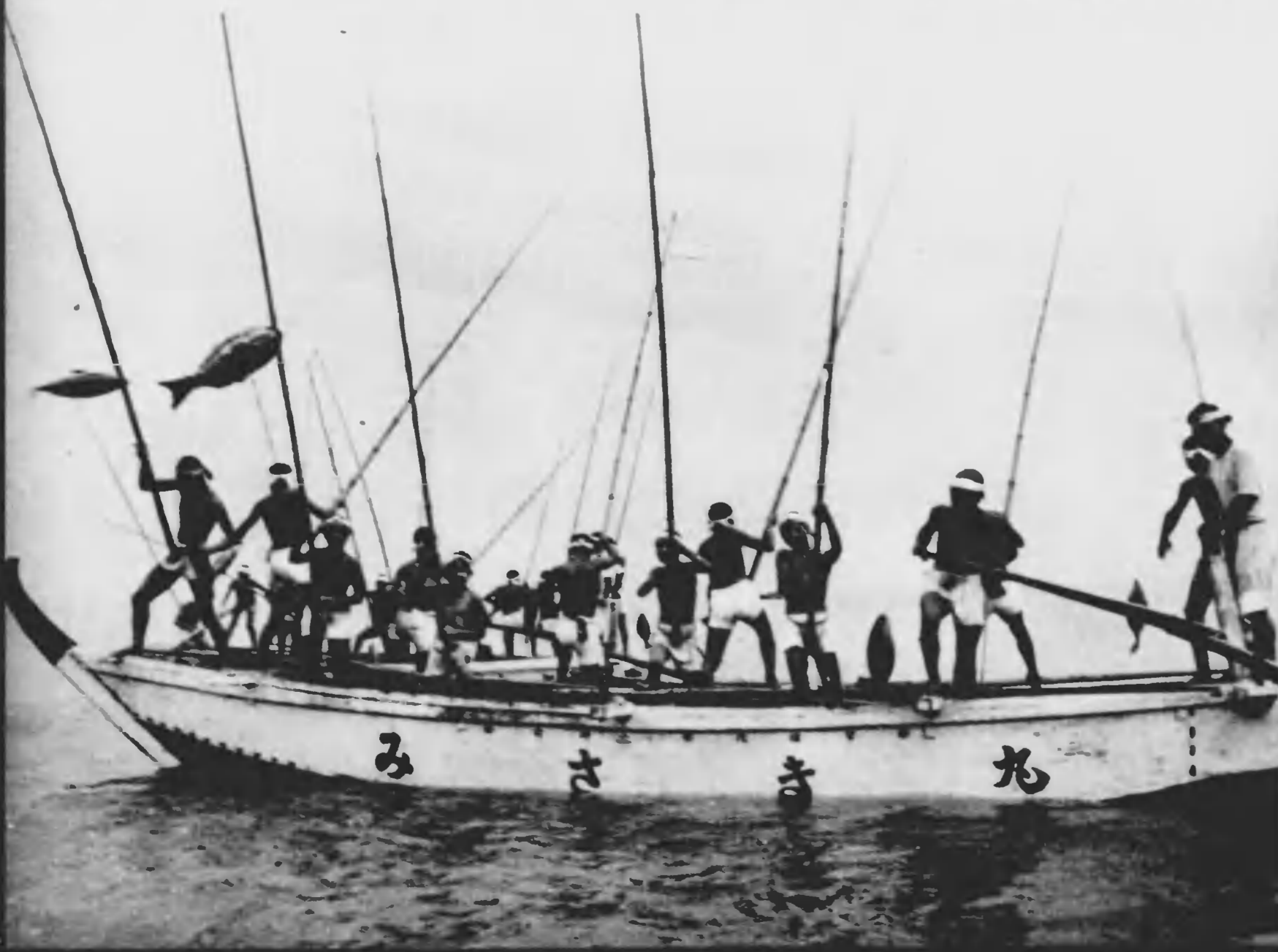


船は沖だ、それ追へ、急げ、と手旗信號の練
 習が、胸を湧かして鼻をつく。今に、僕
 たちも、今に僕らも、船結漕いで怒濤をかまく
 太平洋へ、進軍だ、進軍だ。



静岡県の最南端、三浦海に置かれて、潮に洗
 はれる陸奥郡御前崎村は、戸数七百三十餘戸に
 過ぎぬ。小漁村であるが、大型石油發動機十二
 隻を所有し、青年の大部分はこれに分乗遠く南
 洋方面にまでも出漁してゐる。海に伸びる日
 本を代表する御前崎。この村に生を得た少年
 達は村の名譽をうけついで、すべて物心ついた
 頃から、海を家とし、漁業をもつて躍る日本の
 先頭に立つ黒鯉の精神を継いでゐる。中にも御
 前崎小学校の勇壯な鯉釣體操は、海國少年日
 本の逞しい漁業精神を養ふ訓練として有名で
 ある。
 船へよ、潮に船へよ、海國日本の少年達。今
 新日本の國は海に上る。

ぐつと足を踏み
 出し、深五、六
 長五、六米の真
 竹の釣竿(鯉ベキ)
 を突き出して漕と
 かまへる釣方姿
 勢、左にかかへた
 模様の鯉が、わき
 腹で躍るぢやない
 か。明日の船出が
 若く、希望が、ぐん
 と、ぐんと、胸を
 つく。
 漕で船へたこの
 鯉、この胸見てお
 くれ、胸にははら
 た日の丸も、びん
 とはりきる鯉の胸
 白鉢巻をきりつと
 して、アチコ
 とつけれや、千丈
 の深もこほくない
 僕こそ海の子、海
 洋日本の少年戦士
 だ。



鯉のうろこをきらめかし、躍る鯉は張り子
 の模範だが、ぐつと、アチコに當てがつた
 竿は真竹の本物だ。この意氣、この胸、見た
 か戦地の兵隊さん、銃後はしつかり、海の子
 僕らがひきうけた。

編者
 沼野 健





子供町会はどこまでも子供の手でと立看板もボスターも上手に書いた。

町会紙芝居。西成區鶴田町会の子供長さん自ら拍子木を鳴らして紙芝居に奉養下市民生活を子供の頭に植えてあげてゐる。



僕等で作る
子供町会結成式於長池校
又留島武彦先生の童話
大阪童話教育研究会の先生童話
山坂西二三町子供町会
皆せん来一丁



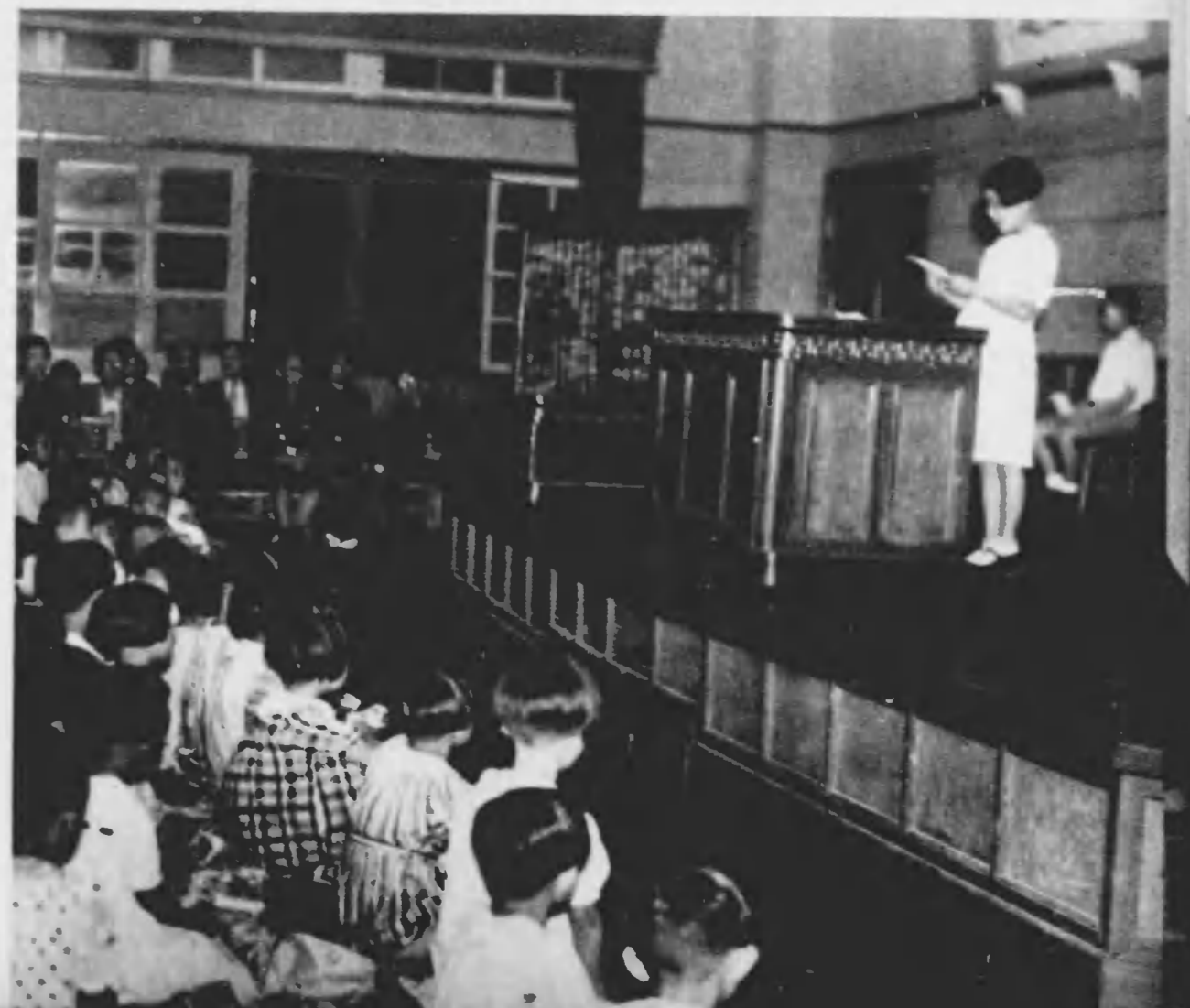
事變下の今日、僕達も銃後の町の勇士となつて、大人に負けず、僕達、私達の町を愛し守らうと大阪市住吉區山坂西之町二三丁目「子供町会」が生れた。會員は小学一年生から六年生までの男女兒で、一日一善を標榜として、自治のお手習、國民精神總動員は子供の世界にも力強い團結となつてあらはれた。

子供町会員、お父さんやお母さんのお手傳ひして街の清掃に。東淀川區天神橋筋七丁目町会の子供の清掃隊

街の時計。毎朝五時四十分、西淀川區大和田町は同町会少年部の鐘書少年がラヂオ體操開始をける鐘聲の音に町会員一齊に戸外に出る。夜明けの街々を毎朝正確に廻るこれ等少年は「街の生きた時計」として大人の朝寝を許さない。



僕達だけの手でこしらへたボスターや立看板は、また僕達の胸ではこんで町内に立てた。うれしい結成式を早く皆に知らせよう。



子供町会發成式の當夜は、學校の先生も大人の町会役員も皆來賓席に招待され、少しも大人の手をかりずに兒童ばかりで開會のことは、經過報告、子供町会の宣言、父母代表へのお禮の言葉など順序よく立派に司會できた。

撮影 大阪市



4) 國民歌謠畫譜

流 筏

定規會編註本日

門叶三子男夜詞
宮原 節 作曲

Moderato 元氣よく

Musical score for the first part of the song, including vocal line and piano accompaniment.

Musical score for the second part of the song, including vocal line and piano accompaniment.

一 サアサ 山は 伏り出せ 深山の 寶
 流せ 伏つて 處女林 取組の 林の 寶
 流れの 紡つて 筏に組んで
 とまる ほど。

男 川は 念流れる 雲解の水だ
 なる 筏に 身を 隠らして
 いのちの 胸だめし。

三 サアサ 狂お 自慢の 三問 卒だ
 下る 岩を 舐めて 満巻く 怒濤
 手 練の 離れわざ。

四 サアサ 此處の 所を 乗り切れ 生命を かけて
 男 見事 男は 若盛り。



附賞点百 はれめ菓を箱空
るなに子菓お

強いきにすかるのお菓の子

明治キヤメラ

明治製菓株式会社

東日主編
一編者野間廣氏
東京・野間廣氏作

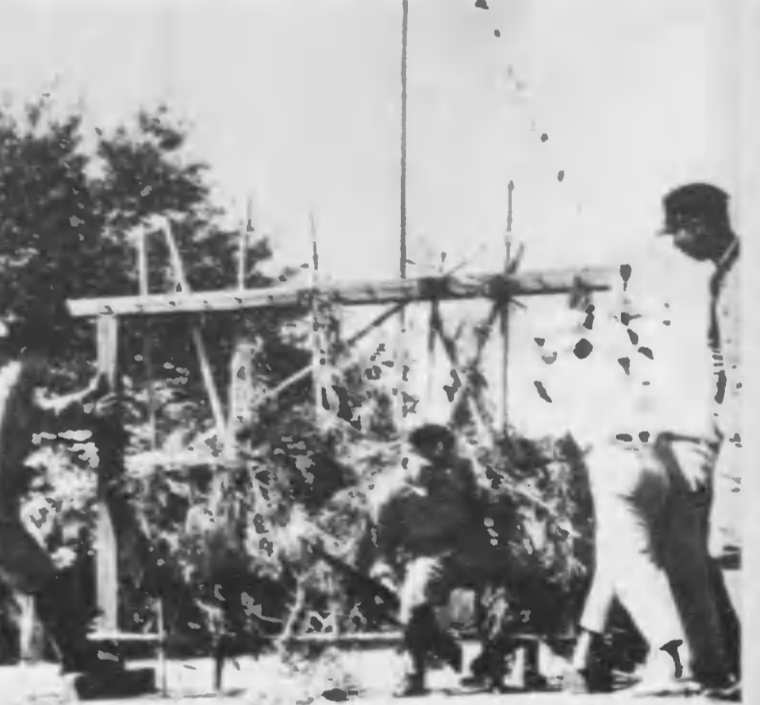
読者のカメラ

少年行進曲
東京市品川區 山 貞 武
私は聖路下イッの兄さんたちを迎へ、あの規律正しい行列を見たとき、心はなやみませんでした。そして日曜日に竹とハイキングしました。もう秋なのに汗みどろになり、胸も締めつけられましたが、楽し合ひ目的の地に皆元気に到着しました。

新しき農村女性
岡山縣津山市 杉 本 哲 朗
農村はいま、擧げておられる秋ではない。肥料不足も自給で補はねばならぬ。岡山縣津山市の女性たちは、柴刈一斉行進の冷気に頬を凍らせ、腰間を刺すような秋の寒風を高く高くひらひらと吹かすのであった。



国防スポーツ
千葉縣八日市町 深田 登美雄
千葉縣八日市町立西郷中學校は長期建設に於ける児童下等少年の地位向上に意を注ぎ、今秋の運動会には「国防スポーツ」の旗を掲げ、新種目を創つた。クレークをとりこぼすことを進める。



寫眞週報は本年二月創刊以来、読者のグラフとしての使命を達成するために努力してまいりましたが、今般ハルハル調剤の見地から各種の紙の使用制限が課せられるに至りましたので、寫眞週報もこの調剤を優先して本紙から四頁の減員を行ふことになりました。しかしながら内容は益々充実してこれを補ふつもりであります。右御承知願ひます。



祈るこの手
長野縣長野市 清水 秀二
秋の長野に秋意で忙しい。目まぐるしくたちあがり親たちの手を離れ、兒らは一日を正兒所て過ごす。楽しい日課に入る前、遠く戦地に向ひ兵隊さんたちよ安かると合はす、いたいな手に幼い心をこめる。

簡易保険は 700 円まで

小児保険は 満一歳から

所 込 申	價 定	昭和三十二年十月五日印刷發行
寫眞週報發行所 東京市品川區品川二丁目一〇番地 電話 〇三六八	一 部 十 錢 一 年 分 前 金 四 圓 八 十 錢 (外 國 郵 費 別 算)	印 刷 所 大 日 本 印 刷 株式 會 社 東京市牛込區市谷一丁目二番地
全國各地官報販賣所 東 京 都 書 籍 株式 會 社 最 寄 書 店・購 賣 店 各 地 新 聞 販 賣 所 寫 眞 材 料 店	寫 眞 週 報 配 送 部 東京市品川區品川二丁目一〇番地 電話 〇三六八	内 閣 情 報 部 東京市千代田區永田町 内閣總理大臣官邸 東京市千代田區永田町

寫眞週報 (禁煙)

ギターに合はせて歌ふは、北海道方ワルター・カントの民謡。夕食後の自由時間のひととき、窓邊によつて夕陽に若き夢をおくる。ドイツの明日の母性はかく響かれ響えらるる。(ヒットラー・女子青年隊者訓練から)

寫眞週報

